

18世紀ブリストルにおけるマリナーの 検認遺産目録

——高額の事例を用いて——

岡 部 芳 彦

要 旨

本稿の目的は、検認遺産目録を分析することによって18世紀におけるブリストルのマリナーの実像を明らかにすることである。

18世紀のブリストルの検認遺産目録を見れば、最大の職業グループはマリナー mariner であったことがわかる。しかしマリナーという語は港湾周辺では非常に頻繁に用いられるにもかかわらず、その実像はよくわかっていなかった。ブリストル地域の検認遺産目録は、残存数も多く様々な情報が含まれているため、マリナーの詳細を見るには最適な史料である。

ブリストル市公文書館に残るマリナーの検認遺産目録の各年の分布をみると1700年以後に突然マリナーの検認遺産目録が多数出現しているため、マリナーという語は、海事関係の職業という意味では18世紀以前はあまり使用されていなかったとも考えられる。また、海事関係の高い地位を示す職業は captain 以外には見られず、マリナーという語は水夫や下級船員だけではなく、多額の財産を残した船長クラスのマスター・マリナーも使っていたことが分かる。したがってマリナーは幅広い社会階層を含む言葉と言える。

£50 を超える高額な検認遺産目録を残したマリナーは多くの動産を所有し、高い地位にあったと思われる。ブリストル市公文書館に残る教会文書の手稿の束である Ecclesiastical Cause Papers に含まれる 4 例のマリナーの検認遺産目録をケーススタディした結果、彼らの仕事内容や取引関係を垣間見ることができた。James Owens の事例には多くの動産や消費財だけではなく、債務者リストも記載され、それは幅広い取引関係を示唆している。Stephen Rogers と Thomas Smith の 2 例には、マスター・マリナーを象徴する航海用具が査定されていた。また、Thomas Smith の事例は、その内容から奴隷貿易に関係していたと考えられ、富裕な商人であったこともうかがえる。

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

本稿における分析の結果、£50 を超える高額な検認遺産目録を残したマリナーは、Owens や Smith のように貿易などを行った富裕な商人であったことがわかった。マリナーは、下級船員から船長や富裕な商人層までを含む幅広い社会階層を含む職業だったのである。

1 はじめに

ブリストル市公文書館 Bristol Record Office (以下 BRO) に残されている18世紀の検認遺産目録を見れば、最大の職業グループはマリナー mariner であったことがわかる。本稿の目的は、検認遺産目録を分析することによって、マリナーの実像を明らかにすることである。

海港都市ブリストルの経済発展についてはこれまでも盛んに研究されてきた。その先駆的なものとしては、ブリストルの交易だけではなく、地域におけるさまざまな産業について分析した P・マクグラスや W・ミンチントンの業績が挙げられる。⁽¹⁾ この10年だけを見ても、海港都市、奴隷貿易を含む貿易拠点としてのブリストルに焦点をあてた研究の進展はめざましい。例えば、E・ジョーンズは16世紀の税官吏への賄賂の分析を通じて商人が違法な貿易をどのように維持しようとしたのかを明らかにしている。⁽²⁾ M・ドレッサーは17世紀から18世紀にかけての奴隷貿易を新しい視点から分析を試みている。ドレッサーのアプローチは社会経済史からだけではなく、文化的な要素から奴隷貿易がブリストルの社会にどのような影響を与えたのかを見せてくれる。⁽³⁾ K・モーガンは、なぜ18

(1) McGrath, P. (1952), *Records Relating to the Society of Merchant Venturers of the City of Bristol in the 17th Century*, Bristol Record Society. McGrath, P. (1955), *Merchants and Merchandise in Seventeenth-Century Bristol*, Bristol Record Society. McGrath, P. (1975), *The Merchant Venturers of Bristol: A History of the Society of Merchant Venturers of the City of Bristol from its origin to the present day*, The Society of Merchant Venturers of the City of Bristol. Minchinton, W. E. (1955), *The Trade of Bristol in the Eighteenth Century*, Bristol Record Society.

(2) Jones, E. (2012), *Inside the Illicit Economy: Reconstructing the Smugglers' Trade of Sixteenth Century Bristol*, Ashgate.

世紀前半のブリストルが奴隷貿易港としてイングランドの他の港に勝ることができたのかを分析している。⁽⁴⁾

BROに残る史料の活字化も盛んに行われている。J・ハウローは、17世紀の貿易を営んだ冒険商人 Merchant Venturer で、クエーカー教徒でもあった Thomas Speed の会計簿を活字化し、その実態を明らかにした。⁽⁵⁾ また、N・ロジャーズは海港都市ブリストルでもこれまであまり取り上げてこれなかった海軍の強制徴募制度の社会経済への影響を分析している。⁽⁶⁾

しかし、これほど多くの研究蓄積がありながらも、18世紀のブリストルで海事関係の仕事にどれぐらいの人数が携わっていたのかについてはまだよく分かっていない。J・プレスによれば、艦船の点呼名簿 Muster Rolls を分析した結果、1787年にブリストルから航海にでたのは2,838人であった。⁽⁷⁾ M・レディカーの推計によれば1740年には2,000人の水夫がブリストル市中心部に居住していた。⁽⁸⁾

海港都市ブリストルを支えた職業であるマリナーについては、どのような社会階層の人々が含まれたのか不明確である。BROに残る検遺遺産目録7169例中に、下級船員や水夫を指す sailor, seamen, seafarer のものは、合計で47例しか残っていない。そのため、下級船員はマリナーの中に含まれたと考えられ

(3) Dresser, M. (2001), *Slavery Obscured: The Social History of the Slave Trade in Bristol*, Redcliffe Press Ltd.

(4) Morgan, K. (2007), *Slavery and the British Empire: From Africa to America*, Oxford University Press.

(5) Harlow, J. (2011), *The Ledger of Thomas Speed, 1681-1690*, Bristol Record Society's Publication Vol. 63.

(6) Rogers, N. (2007), *The Press Gang: Naval Impressment and Its Opponents in Georgian Britain*, Continuum.

(7) Press, J. (1976), *The Merchant Seaman of Bristol 1747-1789*, Bristol Branch of the Historical Association, p. 11.

(8) Rediker, M. (1989), *Between the Devil and the Deep Blue Sea: Merchant Seamen, Pirates and the Anglo-American Maritime World, 1700-1750*, Cambridge University Press, p. 43.

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

る。BROには、研究者の間で wage due inventory⁽⁹⁾ と呼ばれるマリナーの検認遺産目録が多く残されている。それらは、軍艦船において水夫や船員が任務中に死亡した場合、彼らの家族を保護するために海軍によって作成されたものである⁽¹⁰⁾。日本では中間層の研究で知られる J・バリーによれば、ブリストル周辺のマリナーの wage due inventory は主に死亡者の氏名、日時、賃金、乗り組んだ艦船名のみが記され、動産などのリストはなく低額である。その総数は18世紀を通じて1,486例である⁽¹¹⁾。これまでの研究から BROに残るマリナーの検認遺産目録の総数は 1,675例であることがわかっており⁽¹²⁾、その内 wage due inventory は76%を占めている。

マリナーにどのような社会階層の人々が含まれたのかを分析する一つの方法は、船長クラスを意味するマスター・マリナー master mariner の記述を探ることである。1772年に検認を受けた George Walker の遺産目録の総額は £767⁽¹³⁾ であり、Jane 号の Master であったと記されている。1775年に出版された商工人名録スケッチレイ・ディレクトリには45名のマリナーが掲載されている⁽¹⁴⁾。これはディレクトリの出版者や編纂者だけではなく、掲載された本人も彼ら自身をマスター・マリナーと見ていたことを示唆している。なぜなら商工人名録は主に商工業者が中心で、水夫や下級船員が載ることはなかったと考えられるからである。

1795年に出版された商工人名録マシューズ・ニュー・ブリストル・ディレク

(9) 賃金を意味する wage due の語が含まれるためこのように呼ばれる。

(10) E. & S. George, *Guide of the Probate Inventories of the Bristol Deanery of the Diocese of Bristol*, xii.

(11) Barry, 'Introduction' in E. & S. George, *Bristol Probate Inventories Part III*, x.

(12) Okabe, Y. (2012), 'Mariners in Bristol in the seventeenth and eighteenth centuries: An analysis based on probate inventories', Discussion Papers in Economics And Business, Osaka University.

(13) E. & S. George, *Bristol Probate Inventories Part III*, pp. 195-200.

(14) Sketchley, J. (1775), *Sketchley's Bristol Directory: Including Clifton, Bedminster, and the Out-Parishes of St. James and St. Philip*, James Sketchley.

トリには39名のマリナーが掲載されている⁽¹⁵⁾。この商工人名録では、マリナーは商工業者 Merchants, Traders に分類されている⁽¹⁶⁾。ロジャーズの研究のように、この時期にもし水夫や下級船員が人名録に掲載されていたら、強制徴募隊 press gangs が簡単に彼らを見つけ出し、海軍へ強制徴募してしまったと考えられる。そのため人名録に記載されたマリナーは強制徴募される恐れのない高い地位にあったと考えてよいだろう。人名録の分類にもあるとおり、マリナーの多くは商工業を営んでいた。例えば、Castle-street に居住した James Langley は「マリナーとチーズ製造業 mariner & cheesemonger」と記載されている⁽¹⁷⁾。また他の事例では、海事関係の職業を兼業していたことも分かる。例えば Princess-street に住んだ William Bird は「マリナーと酒類・食料品販売業者 mariner and victualler」⁽¹⁸⁾、Back-street に住んだ James Strickland は「酒類・食料品販売業者とマリナー victualler and mariner」と記載された⁽¹⁹⁾。酒類・食料品販売業者 victualler はアルコール飲料や食料を艦船に販売するだけではなく酒場も営み、18世紀のブリストルではマリナーに次ぐ最大の海事関係の職業であったことが分かっている⁽²⁰⁾。また、Edward Long は「樽製造業とマリナー cooper and mariner」と記載された⁽²¹⁾。樽製造業は航海に必要な樽の製造・修理を行い、マリナーの一職位でもあった。

これらのことからマリナーという職業には、wage due inventory を残した水夫や下級船員から富裕な商工業者まで非常に幅広い所得層や社会階層が含まれていたと思われる。本稿では、ブリストルにおけるマリナー層の実像を明らか

(15) Matthews, W. (1793-94), *Matthews's Bristol Directory for the year, 1793-4*, William Matthews.

(16) Matthews, *Matthews's Bristol Directory*, p. 8.

(17) Sketchley, *Sketchley's Bristol Directory*, p. 57.

(18) Sketchley, *Sketchley's Bristol Directory*, p. 8.

(19) Sketchley, *Sketchley's Bristol Directory*, p. 93.

(20) 詳しくは、次章ならびに岡部芳彦「18世紀ブリストルにおける酒類・食料品販売業者 victualler の検認遺産目録」（『大阪大学経済学』63巻2号，2013年）を参照。

(21) Sketchley, *Sketchley's Bristol Directory*, p. 60.

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

にする第一歩として、まず富裕なマリナー層について分析したい。しかし、BRO では管見のかぎり、マスター・マリナーであったことが記載された事例は非常に少ない。そこで、同館所蔵の教会文書の手稿の束から総額の高い4例のマリナーの検認遺産目録を選出し活字化する。そしてそれらのケーススタディを行うことによって、彼らの日常生活を分析し、どのような人々がマリナーに含まれたのかを明らかにしたい。

2 ブリストル地域の検認遺産目録の分布

ブリストル地域の検認遺産目録を体系的に分析した先駆的研究といえるのは、J・ムーアによるものである。ムーアの検認遺産目録集にはブリストル周辺の⁽²²⁾660例が含まれている。

また、C・エスタブルックの研究はブリストルの検認遺産目録の有効な活用方法を示唆している。⁽²³⁾市街地と郊外を比較した研究方法は、消費や物質文化だけでなく、郊外居住者の生活様式や居住環境を分析し、検認遺産目録の社会経済史研究への活用の可能性を示した。

ある地域に関係した現存する検認遺産目録のすべてを見つけることは非常に難しい。理由の一つは、複数教区に財産を残した最も富んだ人々は、居住する教区ではなくイングランドで最高位の教会裁判所であったカンタベリー大権裁判所 Prerogative Court of Canterbury (以下 PCC) で検認を受けたからである。⁽²⁴⁾したがって、各年度ごとの完全な残存数を調べるには、各地の公文書館などに残る史料だけではなくイギリス国立公文書館 The National Archives (以下 TNA) の PCC 検認記録を調査しなければならない。しかし、PCC 検認記録が含まれる PROB 2 から 5 までのシリーズは、文書の番号の整理だけは終わっ

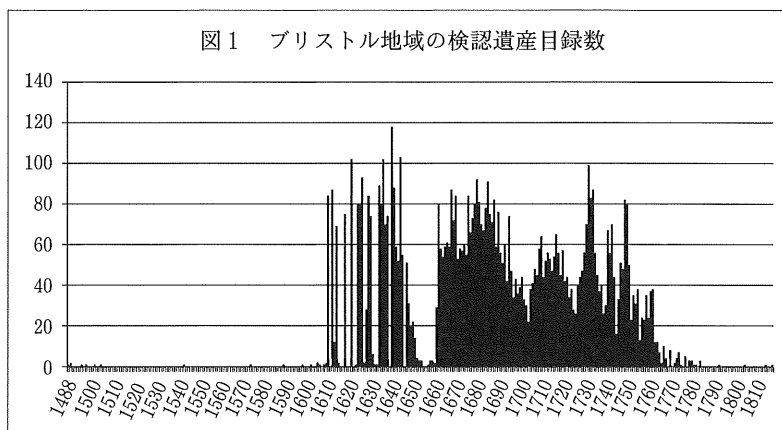
(22) Moore, *Goods and Chattels of Our Forefathers*.

(23) Estabrook, C. (1998), *Urbane and Rustic England: Cultural ties and social spheres in the provinces 1660-1780*, Manchester University Press.

(24) Scott, *Prerogative Court of Canterbury: Wills and Other Probate Records*, x.

ているが、遺産目録の総数でさえいまだに分かっていない。各シリーズにはイングランド各地の遺産目録が順不同で含まれており、一つの地域の遺産目録を整理しようにも、まず索引を作る必要がある。しかし、TNAのPROBシリーズの索引全13巻の冒頭には、現在まだ史料の整理が続いており、最新の整理状況はオンラインのカタログで確認が必要な旨が記載されている⁽²⁵⁾。

幸い、TNAに残るブリストル地域のPCCの検認遺産目録については、ムーア⁽²⁶⁾が索引の作成を続けている。それを含めればPCCの検認遺産目録を含む、ブリストル地域に関係するすべての遺産目録のより正確な年代別の分布を作成することができる。図1は、現在確認されているブリストル地域の現存する検認遺産目録数の分布である。総計7,430例で、もっとも古い例は1488年である。



出典：E. and S. George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*. Moore, Bristol Inventories among the Prerogative Court of Canterbury Probate Series in TNA, unpublished. から作成。

(25) PROBシリーズの索引全13巻の冒頭, ‘These series lists have not been updated since 31 March 2011. For new records and improved descriptions made after this date, please search online.’ (2013年4月24日最終確認)。

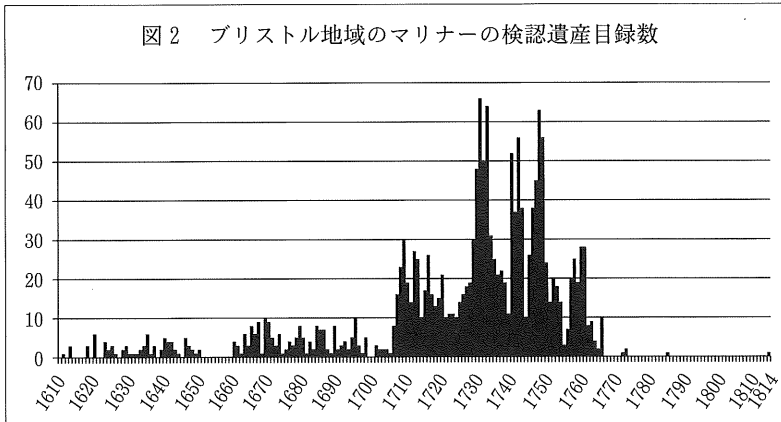
(26) Moore, J. (2013), *Bristol Inventories among the Prerogative Court of Canterbury Probate Series in TNA*, unpublished. ムーア氏には、この未刊行の索引の使用にご快諾をいただいたことに感謝申し上げたい。

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

1600年代より増加しはじめ、1630年に1度目のピークを迎えたあと減少し1638年には0例となった。その翌年に118例が記録され、再び増加しはじめたが、清教徒革命の影響を受け1645年には再び0例となった⁽²⁷⁾。その後、再び増加し、1730年代から1750年代にかけて2度目のピークを迎え、最後の検認遺産目録が残っているのは1817年である。

図2はブリストル地域のマリナーの検認遺産目録数の分布である。その傾向は、図1とは異なっている。総数は1,721例であり、18世紀以前には223例しかなく、1700年以後急激に増加している。1700年から1785年の間には1,452例が残り、そのほとんどは1707年から1766年に集中している。理由の一つとしては、18世紀を通じたイギリスの対外戦争における海戦での戦死者の増加が指摘されている⁽²⁸⁾。

しかし、この分布はマリナーという語についても問題を提起している。この



出典：E. and S. George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*. Moore, *Bristol Inventories among the Prerogative Court of Canterbury Probate Series in TNA*, unpublished. から作成。

(27) Scott, *Prerogative Court of Canterbury: Wills and Other Probate Records*, p. 25.

(28) E. & S. George, *Guide of the Probate Inventories of the Bristol Deanery of the Diocese of Bristol*, p. 270.

2つの分布を比べると1700年以後に突然マリナーの検認遺産目録が多数出現している。先行研究の指摘によれば遺産目録に記載された職業は流動的であり、⁽²⁹⁾水夫や下級船員自身やその家族がマリナーと名乗っていた可能性もある。1445年にブリストルでマリナーのギルドが結成されたにもかかわらず、⁽³⁰⁾言葉としてのマリナーは、海事関係の職業という意味では18世紀以前はあまり使用されていなかったとも考えられる。したがってマリナーには幅広い海事関係の職業が含まれる可能性があり、その分析には注意が必要である。例えば1748年には18世紀で最多のマリナーの遺産目録66例が残っているが、最も低い事例の総額は£4で、最も高い事例が£20と決して高額ではない。一方で非常に高額な事例が見られる場合もある。それらについては次項以降で検討する。

3 教会文書 Ecclesiastical Cause Papers の検認遺産目録

バリーの指摘にもあるとおり、富裕層の検認遺産目録はPCC検認記録に残っている場合が多い。⁽³¹⁾また、1680年に検認・公開されたマリナーのJames Benjaminのように、居住地域の教区とPCCの両方にコピーが残される場合も⁽³²⁾みられる。

BRO所蔵の検認遺産目録の大半はマイクロフィルムで保存されているが、E & S・ジョージによれば、その一部はEcclesiastical Cause Papers（以下ECP）と呼ばれる教会文書の各年の束に手稿のまま含まれている。検認行為は1857年までの検認に関する法令に基づいて、それぞれの教区の司祭によって統制されていた教会裁判所で行われた。⁽³³⁾ブリストル地域の遺産目録の中で、居住地の外

(29) Grannum & Taylor, *Wills & Probate Records*, p. 61.

(30) McGrath, P. (1975), *The Merchant Venturers of Bristol*, The Society of Merchant Venturers of the City of Bristol, p. 6.

(31) Barry, 'Introduction', in E. & S. George, *Bristol Probate Inventories Part III*, x-xii.

(32) PROB 4/10, TNA. E. & S. George, *Bristol Probate Inventories: 1657-1689*, pp. 113-115.

(33) Arkell, 'The Probate Process', pp. 3-13.

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

に動産や財産を所有していた場合や教区外にたびたび出るなど複雑な事情を持つものが、上級の教会法廷 Ecclesiastical Court の手続きが要求された事例があり、それらが ECP の中に残されている⁽³⁴⁾。そのため、これらの遺産目録は総額が大きく、多数の家財が記載されている場合も多いため、様々な職業の日常や消費生活を見るのに有用な史料である。BRO で ECP の各年の束を調査したところ、それぞれ200程度の遺言書、検認遺産目録や関連する付属文書が含まれていた。これらの遺産目録は、1684年から1695年かけて10例、残りの57例は18世紀に集中している。現在閲覧が許されていない1700年以前のもを除き、各年の手稿の束から遺産目録のみを選び出した。それらの多くは動産と信用の長いリストを含み、高額な検認遺産目録であった。それらの遺産目録は、PCC 検認記録と同じく、ブリストルの富裕層を分析するのに最適なサンプルである。

表1はECPに含まれる検認遺産目録の一覧である。BROに所蔵されている検認遺産目録の手稿はそのほとんどが16.5インチ(42cm)×13.4インチ(34cm)の紙に書かれ、8.3インチ(21cm)×3.1インチ(8cm)のサイズに折りたたまれている。また教区が違っても同じウォーターマークの製造業者によって作られた用紙に記載されていた。そこからは大きさや書式に関する厳密なフォーマットがあり、法的文書として正確な様式に則った作成が義務付けられたことが窺える。

1684年から1692年の間の7つの遺産目録は保存状態を理由に閲覧が許されていない⁽³⁵⁾。またECPの67例の内11例はE & S・ジョージの3巻の遺産目録集に活字化され収録されている。もっとも額が低いのは£2、最も高額なものは£2,621である。51例が£50以上で、34例が£100以上、4例が£1,000を超えている。33例には会計簿 account も残っており、7例が遺言書 will と会計簿の

(34) E. & S. George, Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery of the Diocese of Bristol, xv.

(35) EP/J/2/1/1684, EP/J/2/1/1685, EP/J/2/1/1786, EP/J/2/1/1787, EP/J/2/1/1789, EP/J/2/1/1792, BRO.

表1 Ecclesiastical Cause Papers の検認遺産目録

年	氏名	職業	教区	総額	注記
1684	Stoakes, George		St. Stephen	223	会計簿のみ。
1685	Gagg, John	Soap-maker	C.B.	50	遺産目録と会計簿。
1685	Thomas, Mellinie	Widow	C.B.	33	会計簿のみ。
1686	Jackson Elizabeth	Widow	St. Augustine	466	
1687	Brittaine, Thomas		C.B.	21	会計簿のみ。
1689	Cumberpatch, John	Horner		666	会計簿のみ。
1692	Wedmore, William	Butcher	C.B.	52	
1694	Wright, John	Merchant	C.B.	9	遺産目録と会計簿。
1695	Rocke, Richard	Cordwainer	C.B.	56	
1695	Webmore, William	Butcher	C.B.	52	
1728	Brown, Thomas	Hosier		354	
1729	Duval, John	Wine-merchant	C.B.	2621	
1730	Edwards, Joan	Widow	Henbury	538	
1731	Bennett, Mary	Widow		478	同内容のコピーあり。
1741	Johns, Walter	Tailor	St. James	27	
1742	Deplant, John	Mariner	C.B.	10	遺言書では Duplant.
1748	Lloyd Sarah		Mangotsfiel (Downend)	290	遺産目録と会計簿。
1748	Neady, Margaret	Widow	C.B.	2	遺産目録と会計簿。
1751	Windburn, Close	Mariner	C.B.	6	
1762	Milsome, Jacob	Victualler	Temple	88	遺産目録と会計簿。
1762	Nutt, Thomas	Butcher	St. Philip & Jacob	43	遺産目録と会計簿。
1763	Owen, James	Mariner	C.B.	281	
1763	Putham, Mary	Widow	C.B.	747	遺産目録と会計簿。
1764	Crane Edward	Coarch-painter	C.B.	692	遺産目録と会計簿。
1764	Maggs, John	Butcher	St. Nicholas	83	遺産目録と会計簿。
1764	Matthews, Thomas and Jane	Shipwright	St. Mary Redcliffe	43	遺産目録と会計簿。 遺言書は1757年。
1764	Rogers, Stephen	Mariner	St. Stephen	74	遺産目録と会計簿。
1766	Bolt, Thomas	Sexon	St. Augustine	327	遺産目録と会計簿。
1767	Phipps, Abraham	Coal-miner	St. George	26	未亡人の遺言書有。
1767	Rudge, John	Presser & Packer	C.B.	56	
1768	Bastable, Nancy	Widow	C.B.	169	

18世紀ブリistolにおけるマリナーの検認遺産目録

1768	Gerrish, Charles	Basket-maker	C.B.	114	遺産目録と会計簿.
1768	Hewett, John	Victualler	Alveston	359	
1768	Hopkins, Peter	Hatter	Christchurch	17	遺産目録と会計簿. 遺言書は1762年.
1768	Huish, James	Tobacconist	St. Mary Redcliffe	470	遺産目録と会計簿.
1768	Seabrook, James	Silversmith	C.B.	17	遺産目録と会計簿.
1768	Touffi, William	Millwright	SS. Philip & Jacob	265	
1771	Sherman, Thomas	Yeoman	Stapleton	4	遺産目録と会計簿.
1772	Walker, George	Mariner (Master)	St. Mary Redcliffe	767	遺産目録と会計簿.
1772	Waters, James	Millwright	St. George (Glos)	179	
1772	Westcott, Samuel	Collar-maker	C.B.	41	遺産目録と会計簿.
1772	Wright, Thomas	Victualler	SS. Philip & Jacob	87	遺産目録と会計簿. 遺言書は1760年.
1773	Badger, Daniel	Tailor	C.B.	44	
1773	Foot, Hannah	Victualler	C.B.	242	遺産目録と会計簿.
1773	Jayne, Ann	Widow	Henbury	144	遺産目録と会計簿.
1773	Moxham, Thomas	Grocer	SS. Philip & Jacob	34	遺産目録と会計簿. 言書は1768年.
1773	Porter, Ann	Widow	Abbot's Leigh	143	
1773	Shepherd, Joseph	Saddler	C.B.	230	遺産目録と会計簿. 遺言書は1770年.
1773	Smith, Thomas	Mariner	St. Augustine	57	遺産目録と会計簿.
1774	Lewis, Reece	Fishmonger	C.B.	423	
1776	Smith, Samuel & Mary		C.B.	1718	Mary の遺言書有り (1775年).
1776	Cadell, Philip	Teaman	C.B.	123	遺産目録と会計簿.
1776	Dando, Edward	Yeoman	Winterbourne (Whatley's End)	351	
1776	Deere, John	Inn-holder	St. Michae	171	
1776	Jones, Thomas	Schoolmaster	St. James	111	遺産目録と会計簿. 遺言書は1770年
1778	Deverell, John	Millwright	C.B.	67	遺産目録と会計簿.
1778	Jenlins, Thomas	Hooper	C.B.	677	会計簿のみ. 遺言書 は1769年
1778	Poole, William	Malster	SS. Philip & Jacob	1447	遺産目録と会計簿.
1779	Clarke, Susannah	Widow	C.B.	68	
1779	Keate, Benjamin	Carpenter	C.B.	305	会計簿のみ.
1779	Morgan, William	Corn-factor	C.B.	518	会計簿のみ.
1780	James, John	Butter merchant	C.B.	257	遺産目録と会計簿.

1781	Pell, John	Lighterman	Castle Precinct		品目記載なし。'no goods to hand'.
1783	Collins, John	Mariner	C.B.	66	同内容のコピーあり。
1783	Jacques, Francis	Baker	C.B.	1250	遺産目録と会計簿。 遺言書は1779年。
1783	Saunders, John	Victualler	C.B.	97	遺産目録と会計簿。
1804	Ring, Joseph	Potter	Temple	887	遺産目録と会計簿。

出典：E. & S. George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*. EP/J/2/1/1695, 1706, 1728, 1729, 1730, 1737, 1741, 1742, 1748, 1751, 1752, 1762, 1763, 1764, 1766, 1767, 1768, 1771, 1772, 1773, 1774, 1776, 1778, 1779, 1780, 1781, 1783, 1804.

注記：C.B. は 'City of Bristol'.

両方が附されている。遺言書と遺産目録と会計簿は個人の検認記録の完全なセットであり、それらを比較すれば家族関係や遺産相続の詳細を分析できる可能性がある。

ECP の検認遺産目録には37の職業・地位が含まれており、⁽³⁶⁾ teaman や ⁽³⁷⁾ lighterman といった非常に珍しい職業も見られる。これらの職業はマイクロフィルムを含む BRO の史料では1例のみしか見られない。5例が残る酒類・食料品販売業者 victuallers は海港都市特有の海事関係の職業であった。この職業は、船舶へのアルコール飲料や食料の提供を主に行い、また酒場経営も行って ⁽³⁸⁾ いたことが近年の研究でわかっている。船大工 ⁽³⁹⁾ shipwright や、たが ⁽⁴⁰⁾ hoop を作るとともにそれを外して使い古された樽の解体や修理も行った樽製造業 ⁽⁴¹⁾ hooper も海事関係の職業と言えるだろう。

一方、その他の商工業者の検認遺産目録にも海港都市ブリストルと密接なつながりのある職業がみられる。例えば総額 £2,621 と ECP 67 例中で最も高額

(36) EP/J/2/1/1776, BRO.

(37) EP/J/2/1/1781, BRO.

(38) EP/J/2/1/1762, EP/J/2/1/1768, EP/J/2/1/1772, EP/J/2/1/1773, EP/J/2/1/1783, BRO.

(39) 次章ならびに岡部「18世紀ブリストルにおける酒類・食料品販売業者 victualler の検認遺産目録」を参照。

(40) EP/J/2/1/1764, BRO.

(41) EP/J/2/1/1778, BRO.

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

表2 ブリストルにおける£50以上のマリナーの検認遺産目録

	氏名	教区	年	総額
1	Payne, Timothy	C.B.	1707	£975
2	Walker, George	St. Mary Redcliffe	1772	£767
3	Pinny, Alexander	C.B.	1707	£524
4	King, Samuel	C.B.	1713	£421
5	Owen, James	C.B.	1763	£281
6	Weaver, John	C.B.	1725	£209
7	White, John	C.B.	1717	£207
8	Edwards, Joshua	C.B.	1717	£171
9	Mercer, Alexander	St. Philip & Jacob	1714	£143
10	Seaborne, Nicholas	C.B.	1725	£125
11	Shawe, George	C.B.	1711	£117
12	Paine, Timothy	C.B.	1710	£92
13	Taylor, Thomas	C.B.	1711	£79
14	Rogers, Stephen	St. Stephen	1764	£74
15	Campbell, Patrick	C.B.	1751	£71
16	Tregoe, James	C.B.	1703	£69
17	Lewis, George	C.B.	1704	£64
18	Collins, John	C.B.	1783	£66
19	Saunders, Abraham	Westbury on Trym	1710	£66
20	Cross, William	Westbury on Trym	1729	£63
21	Roberts, Issac	C.B.	1714	£59
22	Smith, Thomas	St. Augustine	1773	£57
23	Finlay, John	C.B.	1764	£53
24	Hearne, George	C.B.	1702	£52
25	Tombes, Daniel	C.B.	1742	£50

出典：E. & S. Georg, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*.

注記：C.B. は 'City of Bristol'.

である John Duval の査定品目には、樽詰めされたままのフランス産赤ワイン French claret が大量に見られ、ワイン貿易商であったことがわかる。⁽⁴²⁾ また魚商人 fishmonger であった Reece Lewis の検認遺産目録の額は£423で、ECP⁽⁴³⁾ の中で15番目に高額である。

⁽⁴⁴⁾ ECP の67例には、7例のマリナーが含まれている。それらの内、5例は£50

(42) EP/J/2/1/1729, BRO.

(43) EP/J/2/1/1774, BRO.

以上と高額であり、動産と信用の長いリストを含んでいる。それらを分析することによってブリストルの富裕なマリナー層の実像を見てみたい。

4 マリナーの高額の検認遺産目録のケーススタディ

L・ウェザリルやM・オバートンのように、遺産目録における消費財の出現率を見る研究はこれまでも試みられてきた⁽⁴⁵⁾。一方でM・スパフォドは、遺漏の可能性や総数の未確定、また品目の価格や査定の高確性への疑問などから、とくに農業地帯における遺産目録は史料として耐えうるのかという問題提起を行っている⁽⁴⁶⁾。たしかに目録の内容自体は遺漏の可能性があるにしても、存在しなかった物を記載した可能性はない。その意味では手稿を活字化し、品目の内容からそれぞれの遺産目録やその職業の特徴のケーススタディを行うことは、社会経済史研究におけるもっとも有効な遺産目録の活用方法の一つであると考えられる。

BROに残るマリナーの遺産目録は、その大半が wage due inventory であり氏名等の情報しか記載されていない。しかし、ECPの中から£50以上の高額のマリナーの検認遺産目録は、動産と信用の長いリストであり、wage due inventory を残した水夫や下級船員とは明らかに異なっている。ECPに含まれる£50以上のマリナーの検認遺産目録は5例あり、そのすべてが18世紀のものである。その内2番目に高額な1772年のGeorge Walkerの事例はE & S・ジョージの遺産目録集に活字化され収録されている⁽⁴⁷⁾。そこで本稿ではECPに含まれ

(44) EP/J/2/1/1742, EP/J/2/1/1751, EP/J/2/1/1763, EP/J/2/1/1764, EP/J/2/1/1772, EP/J/2/1/1773, EP/J/2/1/1783, BRO.

(45) Weatherill, *Consumer Behaviour & Material Culture in Britain 1660-1760*. Overton, Whittle, Dean, & Hann, *Production and Consumption in English Households, 1600-1750* など。なお、日本における検認遺産目録の一次史料を用いた研究としては、坂巻清「近世ウィルトシャーの毛織物工業」(『イギリス毛織物工業の展開—産業革命への途—』第3章, 日本経済評論社, 2009年)がある。

(46) Spufford, 'The Limitations of the Probate Inventory', pp. 139-174.

(47) E. & S. George, *Bristol Probate Inventories Part III*, p. 195.

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

る残りの4例すべてを活字化した後にケーススタディを行う。⁽⁴⁸⁾これらは同一職業のものが、同じ史料から選出されており、条件が同じでバイアスも少ないと思われる。したがって富裕なマリナーを見るうえで最適なサンプルである。

なお手稿からの活字化に際しては綴り違い、改行、注記などできるかぎり原史料に近い形で記載した。⁽⁴⁹⁾また日本では、刊行された遺産目録集を用いた研究も見られる。⁽⁵⁰⁾そこで国内外での史料としての今後の活用も考慮して原語のままとし、それぞれの事例に4-1から4の番号をつけ、文末に収録した。

4-1 James Owens (職業：mariner, 教区：City of Bristol, 1763年) の検認遺産目録⁽⁵¹⁾

James Owens の事例は、動産のリストだけではなく、請求 charge と免除 discharge の項目まで記載され、かなり厳密に作成されたことがうかがえる。検認遺産目録では動産がなかった部屋は査定されなかった可能性があり、正確な家屋の構造を知ることはできないが、⁽⁵²⁾この事例には9部屋が査定され、大きな家屋に居住していたことがうかがえる。

椅子やテーブルなどが破損 damaged していると記されており、査定人が正確に記載しようとした様子がうかがえる。遺産目録にはテーブル等に用いたと思われるリネン類が査定されることが多い。この事例でもリネンシート5ペア

(48) 5. James Owen, 14. Stephen Rogers, 18. John Collins, 22. Thomas Smith の4例。

(49) 活字化に際しては、現在では死語となった品目名などもあるため、以下の検認遺産目録用語集を参考にした。Milward, R. (1993), *A Glossary of Household, Farming and Trade Terms from Probate inventories*, Third edition, Derbyshire Record Society Occasional Paper No. 1. Moore, J. (1976), 'Glossary' in Moore, *Goods and Chattels of Our Forefathers*, pp. 288-340.

(50) ブリストルの遺産目録集を使用した近年の研究として、和田将幸「ミドリング・ソートと消費—17世紀ブリストルの遺産検認目録から—」(『経済学論究』, 第64巻第2号, 2010年)がある。

(51) EP/J/2/1/1763, BRO.

(52) Moore, J. (1981), *Clifton and Westbury Probate Inventories 1609-1761*, Avon Local History Association, xv. Moore, *Goods and Chattels of Our Forefathers*, p. 2.

などが査定されている。

Fore room First Story は多くの消費財に囲まれていた。青色の家具 blue furniture が置かれ、オークのテーブルの周囲には8つの椅子が囲んでいた。暖炉の上には8日巻き時計が置かれていた。4枚の古い絵画も掛けられた。磁器、真鍮、デルフト、銅、ピューターなど多様な素材の容器が供えられ、コーヒーミルが査定されている。エスタブルックによれば、コーヒーを自宅で提供することは、上品な都市的ホスピタリティであった。また、客が私的な空間である上階へ誘われるのは、ホストの信用を勝ち得たことを意味した。⁽⁵³⁾ Owens は、上階（2階 First Story）においてリネンでテーブルを覆い、親しい客にコーヒーを振舞ったと考えられる。

鏡 Looking glasses は、back Garrett と Fore room 2d Story にそれぞれ1枚、2階の Fore room First Story に2台のアンティーク調のものが査定されている。エスタブルックによれば、都市部に居住するマリナーの大半は鏡を所有していた。下級船員は、鏡を含む小間物を販売していた影響も考えられる。⁽⁵⁴⁾ また、エスタブルックは絵画や鏡は都市部の住宅に多くみられ、見た目やイメージの重要性があったと述べているが、それに加えてファッションへの興味もうかがわせる。

Owens の事例は18世紀の£50以上の遺産目録25例の中で5番目に高額である。それは多数の動産にくわえて、ECPの中で最も長い45名に及ぶ債務者リストがついているためである。P・スパフォードによれば、債務者リストは取引相手⁽⁵⁵⁾を意味し、彼らもOwensの顧客か取引業者と思われる。

(53) Estabrook, *Urbane and Rustic England: Cultural ties and social spheres in the provinces 1660-1780*, pp. 148-150.

(54) Estabrook, *Urbane and Rustic England: Cultural ties and social spheres in the provinces 1660-1780*, p. 141.

(55) Spufford, P. (2000), 'Long-Term Rural Credit in Sixteenth and Seventeenth-Century England: the Evidence of Probate Accounts' in Arkell, Evans & Goose. (eds.), *When Death Do Us Part*, p. 216.

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

先行研究でも指摘されるように遺産目録では、免除 the Discharged の項目には、死亡者に関する多くの情報が含まれている場合がある。⁽⁵⁶⁾ この事例には、葬儀に関係する品目の後に、医者、靴製造業、床屋、パン屋などへの支払いが記載されている。窓税や水代など公共料金の記載も見られる。Owens は、窓税に 6s 6d が課金されているが、家屋の大きさに比べ低額なので税対策に窓を閉鎖していたのかもしれない。

4-2 Stephen Rogers (職業：mariner, 教区：City of Bristol, 1764年) の検認遺産目録⁽⁵⁷⁾

Stephen Rogers の事例は総額 £74 で、Owens の 4 分の 1 だが、1764年に検認され、Owens の 1 年後であるので比較対象の事例として適している。

マホガニー製のテーブルなど破損した品目も査定され、この事例でも査定者が正確に記載しようとした意図が感じられる。Rogers の家屋については、部屋ごとの査定が行われていないため分からない。Owens より総額は低いものの、多くの日用品や消費財が査定されている。この事例でもベッド関連の品目が多数査定されている。8日巻き時計が £4 14s 6d と査定され、Owens のものより高額であるのは、光沢塗装であるジャパニングが施されたためである。

Rogers の家の中は、ピューターや磁器など様々な素材で出来た多数のカップや食器で囲まれていた。茶棚はジャパニング製や、マホガニー製であった。その上には、真鍮と鉄製の燭台が置かれていた。楕円形の机にはテーブルクロスが掛けられ、6客のティーカップのセットが置かれていた。6枚の絵画が壁に、窓にはカーテンが掛けられていた。Rogers は嗅ぎたばこを吸う習慣があった。彼は多くの消費財に囲まれて日常生活を送り、家を飾り付けていた。Owens よりも遺産目録の総額は低いが、生活の質を高めることに関心があっ

(56) Erickson, A. (2000), 'Using Probate Accounts', in Arkell, Evans & Goose. (eds.), *When Death Do Us Part* を参照。

(57) EP/J/2/1/1764, BRO.

たようである。

マリナーの遺産目録には航海用具が記載されていることがあるが、総額の低いマリナーや wage due inventory にはまったく見られず、それほど多いわけではない。Rogers のように象限儀 ⁽⁵⁸⁾ quadrant やコンパスといった航海用具を所持していることはマスター・マリナーを意味するといっていだろう。

Union 号の 1/8 を所有していたことも記載されている。レディカーによれば、船長クラスは自分の船の一部を所有することが多かった。⁽⁵⁹⁾ このことから、Rogers が船長クラスであったことが窺える。

この事例も免除の項目に多くの情報を含んでいる。遺産目録の査定人への手数料は 10s であった。Richard Stephens というマリナーに £6 6s が賃金として支払われている。Joseph Hone という別のマリナーには 11s が支払われていることから Rogers が他のマリナーを雇っていたマスター・マリナーであったことがわかる。

4-3 John Collins（職業：mariner, 教区：City of Bristol, 1783年）の検認遺産目録⁽⁶⁰⁾

John Collins の事例は総額 £66 で、部屋ごとの査定が行われていないため、Rogers と同じように家屋の詳細が分からない。ベッド関連品からキッチン用品まで個人的な品目が多く査定されている。

Collins の遺産目録は Rogers よりも £8 低いが、装飾品や時計などは一切見られず、その生活は質素であったようである。一方、磁器、ガラス、錫など様々な素材の食器類は査定されている。

Gresley Blake & Co から £28 5s 6d を受け取ることが記載されているが、Owens のように債務者リストはついていない。よって、これは Collins が

(58) コードラント。4分円の金属盤と望遠鏡を組み合わせた天体高度測定器。

(59) Rediker, *Between the Devil and the Deep Blue Sea*, p. 43.

(60) EP/J/2/1/1783, BRO.

18世紀ブリistolにおけるマリナーの検認遺産目録

Gresley Blake & Co から受け取る金、おそらく賃金であったのではないと思われる。Collins は Owens などとは異なり、雇用されていたようである。

4-4 Thomas Smith (職業：mariner, 教区：City of Bristol, 1773年) の検認遺産目録⁽⁶¹⁾

Thomas Smith の事例は総額 £57 で、部屋ごとではなく順番に動産が査定されているため、これも家屋の詳細は分からない。

Smith の事例は、マリナーの遺産目録としてだけではなく、彼のスタイリッシュな日常を垣間見られるという意味でも独特である。その内容から Smith が洗練されたお洒落な人物であったことがわかる。彼は6着のコート、6着の胴着、10本のひざ丈ズボンを所持していた。コートは茶、黄などの色違いであり、ズボンは黒色が多い。白のディミティ製のズボンも持っていた⁽⁶²⁾。青、緑、赤といった様々な色の上着も持っていた。Smith はストライプの衣類を好んだようである。ストライプのズボン4本、チェックのシャツ2枚を持っていた。ハンカチは26枚も査定されている。

ベッド用品のあとには、多数の銀製品が査定されている。異なった種類のバックルも記載されている。銀製の靴のバックルや、宝石がはめられたブーツのバックルと思われる knee buckles が衣類用のバックル breast buckle と一緒に記載されている。Smith の豊富な衣装は、下級船員や水夫ではなく、富裕なマリナーであったことを示唆している。

衣装の詳細なリストの冒頭には、その査定人として David Cherry の名前が記載されている。検認遺産目録では、衣類は冒頭で wearing apparel と1項目

(61) EP/J/2/1/1773, BRO.

(62) ディミティ：引きそろえ糸または太糸で縦縞や格子柄の畝を出した薄い綿布。
'stout cotton cloth with raided stripes and fancy figures, used mainly for hanging and bed courtaions'. Milward, *A Glossary of Household, Farming and Trade Terms from Probate Inventories*, p. 21.

にまとめられる場合がほとんどである。わざわざ衣類に詳しい査定人を選んで1種類ごと査定した事例は非常に稀である。また、食器類と象牙は Thomas Wigan に査定されたともある。検認遺産目録は、通常様々な品目の専門家を含む2名以上の査定人で作成されるが、2名の専門家によって査定されたこの事例は他に比べ注意深く、正確性を期して作成されたといえる。

また他の情報からは Smith の職業の詳細が垣間見える。26本の象牙と、Betsey 号を他の船主と部分所有したという記載からは、彼が西アフリカ貿易と関係があったことがうかがえる。Betsey 号はブリストルから⁽⁶³⁾1765年、⁽⁶⁴⁾1766年、⁽⁶⁵⁾1768年、⁽⁶⁶⁾1770年の4回にわたり奴隷貿易のため出港している。また文末の遺産目録の公開に関する但し書きでは、Smith がキューバのハバナで死亡したことが書かれている。国外での死亡は複雑な事情にあたり、上級の教会裁判所での検認が必要となったと思われる。ECP に遺産目録が残っている理由と考えるとよいだろう。

この遺産目録にも1731年に発明された航海用具であるハドレー式象限儀 Hadley's Quadrant が記載され、そこからも Smith がマスター・マリナーであったことがわかる。

5 む す び

マリナーという語は港湾周辺では非常に頻繁に用いられるにもかかわらず、その実像はよくわかっていなかった。ブリストル地域の検認遺産目録は、残存

(63) Richardson, D. (1986), *Bristol, Africa and the Eighteenth Century Slave Trade to America: Volume 3, The Years of Expansion, 1746-1769*, Bristol Record Office, p. 188.

(64) Richardson, *Bristol, Africa and the Eighteenth Century Slave Trade to America: Volume 3, The Years of Expansion, 1746-1769*, p. 198.

(65) Richardson, *Bristol, Africa and the Eighteenth Century Slave Trade to America: Volume 3, The Years of Expansion, 1746-1769*, p. 216.

(66) Richardson, *Bristol, Africa and the Eighteenth Century Slave Trade to America: Volume 3, The Years of Expansion, 1746-1769*, p. 225.

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

数も多く様々な情報が含まれているため、マリナーの詳細を見るには最適な史料である。

ブリストル地域におけるマリナーの検認遺産目録の各年の分布をみると1700年以後に突然マリナーの検認遺産目録が多数出現しているため、マリナーという語は、海事関係の職業という意味では18世紀以前はあまり使用されていなかったとも考えられる。また、BROには、職業がマリナーと記された wage due inventory が多く残っている。それらは18世紀中に1,486例が残っているが、£50を超える高額な検認遺産目録を残したマリナーは25名である。検認遺産目録に見られる海事関係の高い地位を示す職業は captain 以外には見られず、マリナーという語は水夫や下級船員だけではなく、多額の財産を残したマスター・マリナーも使っていたことが分かる。したがってマリナーは幅広い社会階層を含む言葉と言える。

£50を超える高額な検認遺産目録を残したマリナーは多くの動産を所有し、高い地位にあったと思われる。BROに残る教会文書の束である Ecclesiastical Cause Papers に含まれる4例のマリナーの検認遺産目録のケーススタディからは、彼らの仕事内容や取引関係を垣間見ることができた。James Owens の事例には多くの動産や消費財だけではなく、債務者リストも記載されていた。Owens の債務者リストは幅広い取引関係を示唆している。Stephen Rogers と Thomas Smith の2例には、マスター・マリナーを象徴する航海用具が査定されていた。また、Thomas Smith の事例は、その内容から奴隷貿易に関係していたと考えられ、富裕な商人であったこともうかがえる。

富裕なマリナーは、多くの消費財に囲まれた日常生活を送っていた。個人差は見られるものの、茶器やキッチン用品のような消費財を通じて生活の質を向上することに関心があったようである。色違いの様々な衣類が査定された Thomas Smith の事例からは、18世紀に最も栄えた海港都市の一つブリストルで消費活動が活発となったことが窺える。

本稿における分析の結果、£50を超える高額な検認遺産目録を残したマリ

ナーは、Owens や Smith のように貿易などを行った富裕な商人であったことがわかった。マリナーは、下級船員から船長や富裕な商人層までを含む幅広い社会階層を含む職業だったのである。

(67) deceased's

(68) Shillings

(69) Captain

ECP におけるブリストル地域の検認遺産目録

- (1) James Owens (職業：mariner, 教区：City of Bristol, 1763年) の検認遺産目録

A true and perfect Inventory of all and Singular the Goods Chattels and Credits of James Owens late of the City and Diocese of Bristol Mariner deceased which since his Death have come to the Hand Possession or Knowledge of Betty Owens his Widow Relict and Administratrix (now the Wife of William Matcott of the same City Mariner) as followeth and by her exhibited into the Registry of the Episcopal Court of Bristol this Twenty Sixth day of May One Thousand Seven Hundred and Sixty Three

These Household Goods hereinafter mentioned were taken valued and appraised by James Pearse and Edward Savage at the several Rates and prices following (to wit)

In the fore Garrett

	£	s	d
Three old rush bottom Chairs	0	0	2

In back Garrett

One old Bed and Bedstead worth	0	0	0
--------------------------------	---	---	---

In the back Room 2d Story

One old Bedstead with old Yellow furniture	0	10	0
One old Flock bed, one Bolster, one Rugg, one Blankett, & two old Sheets	0	12	6
Five old broken Chairs	0	1	0
To one old broken Table	0	1	0
One small looking Glass	0	1	6

Fore room 2^d Story

One Bedstead with Green furniture	}	2	0	0
One Feather Bed Bolster, one Rugg, & 2 Blankets				
One Bedstead with Yellow Furniture	}	2	0	0
One Feather Bed Bolster, one Rugg, 2 Old Blanketts, and 2 old Sheets				
Eight broken Chairs	0	1	0	
One Iron Grate	0	3	6	
One old dressing Table	0	0	6	
One small looking Glass	0	5	0	

carried over £5: 16: 2
 Brought over 5: 16: 2

Fore room First Story

One Bedstead with Blue furniture, One Feather Bed, One bolster, Two pillows, One Pair of old Sheets, One pair of Blanketts, and one old Quilt	}	3	10	0
Two old oak Tables		0	15	0
One round Oak Table		0	2	0
One old base of Drawers		0	5	0
Eight old Wooden-bottom Chairs		0	8	0
One two-armed Chair		0	1	6
Two old-fashioned looking Glasses		1	1	0
One old Eight-day Clock		2	0	0
One Stove Grate, one Brass Fender, and one Iron Tongs	}	1	1	0
Four old Pictures		0	1	0
One China Bowl		0	1	6
A parcell of delft ware and some broken Glasses	}	0	2	6
Six old brass Candlesticks (different sorts)		0	4	6
One old Copper Coffee pot one Copper pott and one Cover		0	2	6
One old warming pan full of Holes		0	0	6
Ten pewter dishes wt. 28 Lb.		0	15	0
Eighteen Pewter old plates		0	10	0

In the middle Room one Story

One large deal Chest		0	5	0
One small Chest		0	2	6
One old Bedstead, one old flock Bed, one pillow, Two old Sheets, Two old Quilts	}	0	10	0

Linnen

Three pair of Sheets		1	2	6
Two pair of old Sheets		0	10	0
Six old Table Cloths		0	15	0
Six pillow Cases		0	6	0

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

Four Napkins	0	6	0
Cloths & wearing apparell			
One Suit of brown Cloths	1	10	0
	<hr/>		
Carried over	£22	4	2
Brought over	22:	4:	2
Two old Coats Four Waiscoats, One pair of old Breeches	0	10	0
<i>Fore Kitchen</i>			
Two old Settles	0	4	0
One old deal Table	0	2	0
Five reed-bottom Chairs	0	3	6
One Iron Grate Slice Poker & Tongs	0	8	0
<i>Little Fore Room</i>			
One old Coffee mill	0	0	9
One Oak Oval Table	0	2	6
Four wooden bottom Chairs	0	5	0
Six old prints	0	1	6
<i>Little Back Room</i>			
Two old Tables & Five old rotten Chairs	0	2	0
Three Copper Potts, one Kettle, and Two old Saucepans	0	7	6
One old frying pan, one old Gridiron, one Iron Stand and one old Tin dripping Pan	} 0	2	6
Three Coolers	1	1	0
1 Meshing Tub	0	15	0
One long deal Table	0	7	6
One old Iron Grate	0	4	0
One deal Press	0	2	6
Nine Beer Barrels	2	14	0
Three Kilderkins	0	12	0
Twelve old Tubs	1	4	0
One Cooler	0	5	0
Sundry old Things in the Cellar	0	10	0
Plate wt 84 03: 1/2 @ 5/	21	2	6
	<hr/>		
	£53:	10:	11

Elizabeth Matcott

An Account of Moneys received for Goods sold and delivered and also for sundry Debts due to the said deceased at the time of his Death from the several Persons hereafter mentioned (to wit)

recd of John Teatt	10	5	0
recd of Mr. Quinell	5	5	0
	<hr/>		
	£ 15:	10:	0

carried over

15: 10: 0

Brt over

Recd of Mr Hoben	3	3	0
The Stock of Ale in the Cellar 12 Barrells, being in the Summer made little of it some was sold for Three half pence the Quart and of great deal of it made nothing	5	0	0
	<hr/>		
	£ 23:	13:	0

Debts due and owing from the several persons hereunder mentioned which this Exhibitant believes to be desperate therefore the protests against been charged with the same or any part thereof until she shall receive the same (to wit)

From Joseph Holmes	3	17	4
From William Wittey	3	6	10
From John Howlder	4	8	7
From Luke Dwyer	3	16	5
From M ^r . Faguson	0	9	1
From David Commings	3	2	10
From Adam Anderson	1	10	0
From Hugh Logan	0	9	0
From M ^r . Maxam	1	8	4 1/2
From William Scott	0	9	3
From Griffy Smith	0	6	8 1/2
From John Morris	0	13	6
From John Jenkins	2	7	7 1/2
From Michael Whelin	3	11	10
From John Deneson by the Ballof the accounts	1	11	7 1/2

18世紀ブリistolにおけるマリナーの検認遺産目録

From M ^r . Rowe	4	4	4
From Mr. Kelly	2	11	6
From Mark Cross	0	10	5
From M ^{rs} . Walton	1	16	2
From Luke Dwyer	15	13	2
From M ^r . Pope	7	9	11 1/2
From George Elliott	2	9	10 1/2
From M ^{rs} . Smith	3	13	1
From Richard Mayler	31	7	11
From Nicholas Harry	11	12	7 1/2
	£112:	18:	0 1/2

carried over

112: 18: 0 1/2

Brt over

From John Millard	6	14	10
From Edward Bryan	4	18	9 1/2
From John Price	8	19	6
From M ^r . Tolbot	13	12	7 1/2
From Captain Doyle	12	4	1 1/2
From M ^{rs} . Walton's Maid	2	1	0
From M ^{rs} . Peacock	1	16	0
From Timothy Kenedy	2	2	0 1/2
From Jonathan Kenedy	2	18	6
From M ^r . Brown a Chairman	8	14	6
From M ^r . Collins	0	17	2
From M ^r . French	0	11	4 1/2
From M ^r . Cox	1	16	3
From M ^r . Robason	14	7	9
From Doctor Neil	2	6	6
From William Manstone	0	9	7
From John Brea	0	5	0
From Robert Preist	0	5	0
From John Handley	1	13	1
From Charles Smith	4	5	6 1/2

£203: 17: 2 1/2

:

The Charge

This Accountant chargeth herself with the several Articles set forth in the fore going Inventory amounting to the Sum of Fifty-Three pounds, Ten Shillings, & Eleven pence	53	10	11
---	----	----	----

Also with the debts & reced amounting to the Sum of Twenty Three pounds Thirteen Shillings	23:	13:	0
--	-----	-----	---

The Discharge

This accountant craveth an allowance for
the several Sums of Money by her paid laid
out and expended in and about the Funeral
of the said deceased and otherwise touching her
Administratorship as followeth (to wit)

To the deced's ⁶⁷ Coffin and Shroud	4	10	0
To the Glover and for Cloaks	1	18	0
To Crape and Ribbond	1	12	1 1/2
carried over	£8:	0:	1 1/2
Br. over	8:	0	1 1/2
To Wine	0	10	0
To Expences in laying the deced out	0	10	0
To the deced's Burial	1	0	10
To the Doctor's Bill	0	3	3
To the Shoemaker's Bill	1	7	5
To a lump of Sugar	1	0	5
To Water Money	0	7	6
To the Excise as p receipt	3	2	0
To the Barber's Bill	0	3	0
To the Lamps and Scavenger	0	12	1
To white limeing the House	0	7	8
To nursing a Child before the Death of the said James Owens	1	6	0
To half a Year's Watch Money	0	3	7
To half a Year's Window Tax	0	6	6
To the Baker's Bill	0	9	6

18世紀ブリistolにおけるマリナーの検認遺産目録

To Three Quarter's Rent of the House when he died	16	10	0
To Three Quarter's Bridge Money	0	9	9
To Two Barrells of Syder (<i>Cider</i>)	4	15	0
To the Malster's Bill	34	6	0
	£75:	4:	7 1/2

Item this accountant craveth an allowance of the sum of Eighteen Shil⁶⁸ by her paid for taking out Letters of Administration to the Effects of they said deceased and the Sum of One Pound Two shillings for drawing Ingrossing and exhibiting this Inventory and account and other necessary Charges relating thereto

	2:	0:	0
--	----	----	---

This accountant also saith That there are sundry Debts now due and owing from the Estate of the deceased which still remain unsatisfied.

Particularly to Luke Ladd for Money lent the deced Elizabeth Matcott.	70	0	0
--	----	---	---

出典：EP/J/2/1/1763, BRO.

(2) Stephen Rogers (職業：mariner, 教区：City of Bristol, 1764年) の検認遺産目録

A true and perfect Inventory of all and Singular the Goods Chattels and Credits of Stephen Rogers late of the City and Diocese of Bristol Mariner deceased which since his Death have come to the Hands Possession or Knowledge of Elizabeth Rogers Widow Administratrix of all and Singular the Goods Chattels and Credits of the said deceased taken and appraised the Twenty Fourth Day of February in the Year of our Lord One Thousand Seven Hundred and Sixty four as followeth (to witt)

First	The deceased's Wearing Apparel of all sorts	~	3	12
Also	Ready Money in the Deceased's House at the Time of his Death		23	19
Also	His Silver Plate (to witt)			

One milk Jug Five Tea Spoons One pair of Buckles	}	2	14	~
One Old Watch and One pair of Sleeve Buttons				
Also The deceased's Household Goods (to witt)				
One Broken Mahogany Desk		1	10	~
Six Prints framed and glazed		~	3	~
One Cloaths Horse		~	1	~
One Bedstead with Blue Furniture		1	2	~
One Bed Bolster Two Pillows and a Pillow Case		1	10	~
Two Blanketts and One Quilt		~	16	~
One Bed and Two Pillows		1	5	~
One small Quilt and Rug		~	6	~
One small Oak Desk		~	10	6
Six Walnut Chairs and an Arm Chair		1	11	6
One Sea Bed One Pillow One Small Quilt and Coverlid		~	9	~
One Oak Pillar Table		~	5	~
An Eight Day Clock Jappan Case		4	14	6
One Stove Grate		~	17	~
One Sconce Looking Glass			1	1
An oaks Desk Bedstead		~	16	~
One Feather Bed and Bolster		~	18	~
One Rug Two Blankets and a very Old Blanket		~	10	~
An Old Corner Cupboard		~	4	6
Four Curtains Valions Head Teaster and a small red Check Window Curtain	}	1	5	~
Carryed forwards	£	50:	6:	0
Br. forwards		50:	6:	0
One Bed and Bolster		2	2	~
Mahogany Tea Board and Tea Chest		~	5	~
Two Looking Glasses		~	6	~
One Old broken Table		~	~	6
One Brass Fender One Pestle and Mortar and One Warming Pan		~	10	6

18世紀ブリistolにおけるマリナーの検認遺産目録

One Iron Box and Iron Fender	~	3	~
One pair of Bellows	~	1	~
Three Pewter Dishes and Eleven Pewter Plates	~	11	8
Three Brass and One Iron Candlestick	~	1	8
An Oval Table	~	5	~
Twelve Wooden Chairs	1	4	~
Three Rush Bottom Chairs	~	1	6
Three Pair of Tongs a Poker and Shovel	~	2	6
Two Tea Kettles	~	4	6
A Tin Candle Box one Tin Oven and one Dripping Pan	~	1	3
Six Prints framd and glazd	~	6	~
Seven Blue and White China Plates	~	5	~
One small plaid Window Curtain	~	1	~
Six China Cups and Saucers some broke and some whole	~	2	~
One Tea Chest and painted Sugar Canister	~	3	6
An Old Jappan Tea Board	~	~	6
One China Bowl and one China Bowl crackt	~	4	~
Eight Sheets	~	16	~
Four Pillow Cases	~	1	4
Three Old Table Cloths	~	3	~
One Paper Snuff Box	~	1	~
Also The Deceased's Books (to witt)			
Ten Books a Mariners Compass and a Quadrant	~	7	6
Also A parcel of Salt Beef	8	~	~
Also Due to the deceased on Account of Freight	7	~	~
Also The deceased's One Eighth Share of a Vessell called the Union buttthe Value of the deceased's said Share She this Exhibitant cannot speak to	} ~	~	~
Total		£73	16 11

The Full and true Account of the above Named Elizabeth Rogers as well of her Receipts as of her Payments Disbursements to and other Necessary Expences which she hath made disbursed and been at by reason of her being Administratrix as aforesaid followeth (to witt)

The Charge

This Accountant Chargeth herself with the severall Articles sett forth in the foregoing Inventory (Except the last Article thereof being the deceased's Share of the Ship Union) Amounting to the sum of	}	73	16	11
--	---	----	----	----

The Discharge

This Accountant Craveth an Allowance of the Several Sums of Money by her paid laid out and Expended in and about the Funeral of the said Deceased and for Debts by him owing at his Decease and otherwise touching her Administratorship as followeth (to witt)	}			
---	---	--	--	--

This Accountant craves an Allowance of the Sum of Seven Pounds Twelve Shillings and Ten Pence so much being paid by her for the Expences of the deceased's Funeral	}	7	12	10
--	---	---	----	----

Also this Accountant craves an Allowance of the Sum of Two Pounds Three Shillings and Eight Pence so much being paid by her for the Charges of the Administration	}	2	3	8
---	---	---	---	---

Also this Accountant craves an Allowance of the Sum of Ten Shillings as much being paid by her to John Waleam for Appraising the deceased's Goods	}	~	10	~
---	---	---	----	---

Also this Accountant craves an Allowance of the Sum of Five Pounds so much being paid by her to William Gordon for Rent due for the deceased's Dwelling House	}	5	~	~
---	---	---	---	---

Also this Accountant Craves an Allowance of the Sum of One Pound Twelve Shillings and Six pence so much being paid by her to Nathan Hall Taylor	}	1	12	6
---	---	---	----	---

Also this Accountant craves an Allowance of the Sum of Six Pounds Six Shillings so much being paid by her to Richard Stephens Mariner for Wages	}	6	6	~
---	---	---	---	---

Also this Accountant craves and Allowance of the Sum of Two Pounds five Shillings so much being paid by	}	2	5	~
---	---	---	---	---

18世紀ブリistolにおけるマリナーの検認遺産目録

her Capt69 Bonnel for Dues to M ^r . Mayor	}				
Also this Accountant craves an Allowance of the Sum of One Pounds Eight Shillings so much being paid by her for Piloting the deceased Vessel to Bristol	}	1	8	~	
Also this Accountant craves an Allowance of the Sum of Fourteen Shillings and Eight Pence so much being paid by her to Joseph Short Cordwainer	}	~	14	8	
Also this Accountant craves an Allowance of the Sum of One Pound Eleven Shillings so much being paid by her to Joseph Hone Mariner	}	1	11	~	
Total			£29	3	8
Sworn in court this					<i>Eliz Rogers</i>

28th day of July 1764

Before us J. Camplin Sur Witness Jer Osborne

出典：EP/J/2/1/1764, BRO.

(3) John Collins (職業：mariner, 教区：City of Bristol, 1783年) の検認遺産目録

A true and perfect inventory of all and singular the Goods chattles and Credits which have come to the Hands Possession or Knowledge of William Bundy of the City and Diocese of Bristol Sailmaker as Administrator of John Collins late of the said city of Bristol Mariner deceased during the Minority of John Bundy Collins son of the said John Collins as follows (that is to say) -

3 Chairs	0	13	6
1 Table	0	10	0
1 Glass	0	6	0
1 bedside Carpet	0	1	6
1 bedstead & Curtains	2	5	0
1 bed & bolster	2	10	0
7 Chairs	2	4	4
1 Table	0	4	8
1 suit of bed curtains & 1 window curtain to match	3	12	0
1 wash hand Stand	0	3	6
1 looking Glass	2	3	0

1 Ditto	2	13	0
1 Table	1	5	6
1 Ditto	1	5	6
1 Ditto	1	10	6
7 Chairs	4	10	0
1 Pair of Blanketts	0	6	0
1 Ditto	0	7	6
1 blanket	0	3	10
1 Quilt	1	6	0
1 Ditto	0	2	10
1 Pair of Sheets	0	7	0
1 Ditto	0	7	0
1 Pair of Sheets	0	11	0
5 Pillow Cases	0	4	2
2 Table Cloths	0	2	2
3 Ditto	0	4	6
7 towels	0	3	6
7 Ditto	0	1	9
6 Knives & 6 Forks	0	1	6
3 Chairs	0	11	6
Lott of earthen ware	0	2	6
Ditto	0	2	10
Sundries	0	1	3
1 looking glass	1	7	0
1 Table	0	13	0
1 pair window curtains	1	2	0
1 tin fender	0	1	0
1 iron fender	0	1	3
1 Tea board	0	3	6
1 Tea Tray	0	6	6
1 sett of fire irons	0	3	10
1 pair of candlesticks	0	1	10
1 Ditto	0	1	10
1 lot of China	0	12	0
1 Ditto	0	4	2
1 lot of Earthenware	0	2	2

18世紀ブリストルにおけるマリナーの検認遺産目録

1 Ditto	0	1	3
1 Ditto	0	4	2
1 Ditto	0	3	2
1 Ditto	0	2	0
1 lot of Glassware	0	1	0
Sundries	0	1	0
1 lot of Tinware	0	1	2
1 Ditto	0	0	6
1 flying pan	0	1	1
5 Chairs	0	5	0
1 Kitchen grate	1	0	0
1 set of fire irons	0	2	0
1 Kettle	0	1	10
1 lot of tinware	0	1	4
	£37	18	7

Received of Gresley Blake & C^o to a debt due from them } 28 5 6

And this Exhibitant doth declare that although he possessed himself of the before mentioned goods and chattles as Administrator of the said John Collins as aforesaid yet that the same properly belong (as this Exhibitant is advised) to the estate of Mary Collins deceased heretofore the Wife of the said John Collins who survived her said husband and was in Possession of the said Goods and Chattles and every Part thereof at the time of her Decease

Sworn in Court the }
 20th September 1783 before us } William Bundy
 J. Camplin Sur

The foregoing is a true Copy Examined with
 the Original the 25th March 1784 by us
 Will^m Clarke
 Lacon Berry

出典：EP/J/2/1/1783, BRO.

(4) Thomas Smith（職業：mariner, 教区：City of Bristol, 1773年）の検認遺産
目録

A True and perfect Inventory of all and singular the Goods Chattels and Credits of Thomas Smith late of the City and Diocese of Bristol Mariner which since his Death have come to the Hands Possession and or knowledge of Eleanor Smith of the City of Bristol aforesaid Widow the Mother and also Administratrix with the Will annexed of the said deceased taken this Twenty Third Day of April One Thousand Seven Hundred and Seventy Three as follows (to wit)

The deceased's wearing Apparell and other Articles
Appraised by David Cherry Sworn Appraiser

	£	s	d
One old Brown Coat	0	4	0
One old Yellow Coat Waistcoat and Breeches	0	6	0
One other Coat Waistcoat and Breeches	1	5	6
Two old Blue Coats	0	5	6
One old blue Jacket, one old Green Jacket and one old Striped Waistcoat	} 0	1	6
One red nap Jacket	0	5	6
Three old pair of black Breeches	0	1	6
Four pairs of White Dimmety Breeches	0	10	0
Two pair of Flannel Drawers	0	0	6
One old striped Waistcoat, Two old black Waistcoats and one old pair of black Breeches	} 0	2	0
Four pairs of striped Trousers	0	1	6
Five old Check Shirts	0	9	0
Two old Holland Shirts	0	3	6
Two pairs of old Thread Stockings	0	1	0
One pair of old worsted Stockings and one pair of old thread Stockings	} 0	2	6
One Hat	0	4	0
Four worsted Night Caps	0	2	8
Twenty Six Damaged Handkerchiefs	0	2	2
Two old Linen pillow Cases	0	0	6
Two Sea Blankets	0	3	0
One old Cotton Table Carpet	0	3	0
One Piece of Printed Callico	1	1	0

18世紀ブリistolにおけるマリナーの検認遺産目録

One Matrass	0	5	0
Three Small Pewter Basins	0	2	0
One broken Quadrant/Hadley's/ Plate and Ivory appraised by Thomas Wigan	0	10	6
One Silver Watch	2	0	0
One pair of Silver Shoe Buckles	0	11	0
One pair of Stone Knee Buckles set in Silver	0	8	0
One Breast Buckle	0	2	0
To the deceased's Moiety (in partnership with M ^r . Simons) of the neat proceeds of Twenty Six Elephant's Teeth 0 ^c 3st 1 ^b at 9 ^s 9 ^s 0 ^d	}	3	1 7
To a Balance due to the deceased on his Account with the Owners of the Ship Betsey			

This Exhibitant saith that the deceased was intituled to a distributive and proportionable share with this Exhibitant and her other Son and Daughter James Smith and Eleanor Smith of and in the Personal Estate and effects of Thomas Smith her this Exhibitant's late Husband deceased Intestate But as the said Thomas Smith the Father died abroad at the Havannah in the Island of Cuba and this Exhibitant hath not yet received any Account of his Effects, She cannot set forth what the said Thomas Smith the Son's Share thereof may be worth or amount unto.

This Exhibitant prayeth to retain in her Hands the Sums of Money by her paid laid out and expended for the deceased in his Life time And also such other Sums of Money as the deceased stood indebted to her at the time of his decease And also prayeth an Allowance for the several Sums of Money by her paid laid out and expended in and about her Administratrixship as followeth (to wit)

	£	S	D
To James Power the Taylor's Note 6 9 3			
To Phillippa Palmer and Son for Cloaths for the deceased	2	2	0/4
To Eleven Weeks Board of the deceased from 25 th September 1769 to the 11 th December following at	}	4	8 0

Eight Shillings p Week	}			
To Moneys Lent the deceased at different times	}	5	5	0
for Pocket expences				
To Paid David Cherry for appraising the	}	0	3	6
deceased's Wearing Apparel				
To Paid Thomas Wigan for mending the	}	0	9	6
deceased's Watch and Buckle				

Sworn in Court Eliner Smith

The 15 May 1779

before us

J. Camplin Sur

Witness Rob Usken

Will^m Clarke

出典：EP/J/2/1/1773, BRO.

Mariners in Eighteenth-Century Bristol: A Case Study of Higher-Value Probate Inventories

Abstract

Anyone studying the eighteenth-century probate inventories of Bristol soon notices that the largest occupation group was mariner. However, as an occupation, mariner is exceedingly difficult to define and understand. The purpose of this paper is to reveal what the job of a mariner was by examining the real lives of wealthy mariners and the people who supported the maritime economy of Bristol in the eighteenth century.

There were many 'wage due' inventories in which the deceased or their family described themselves as mariners. Even though there were 1,486 of these inventories in the BRO for the eighteenth century, there are only 25 mariners' inventories in the higher-value range of more than £50. Because there were no other names of higher-status marine occupations, except captain, the word 'mariner' was used not only by sailors, but also by people with significant personal property, meaning master mariners. Thus, the word 'mariner' covered a very wide range of social statuses.

From the four case studies of these mariners from probate inventories in Ecclesiastical Cause Papers, we can see their real lives. They all had many goods and chattels, as well as money owing. All the mariners selected in this paper spent their everyday lives surrounded by many consumer goods. Although one was more enthusiastic than the others, all of them were interested in improving their quality of life through consumer items such as tea and kitchenware.

Two inventories included navigation equipment, proof and symbols of a master mariner. The credits show that James Owens had wide range of business, and also Thomas Smith's inventory shows commercial relationships with business partners, indicating that they were not wage workers but wealthy traders.